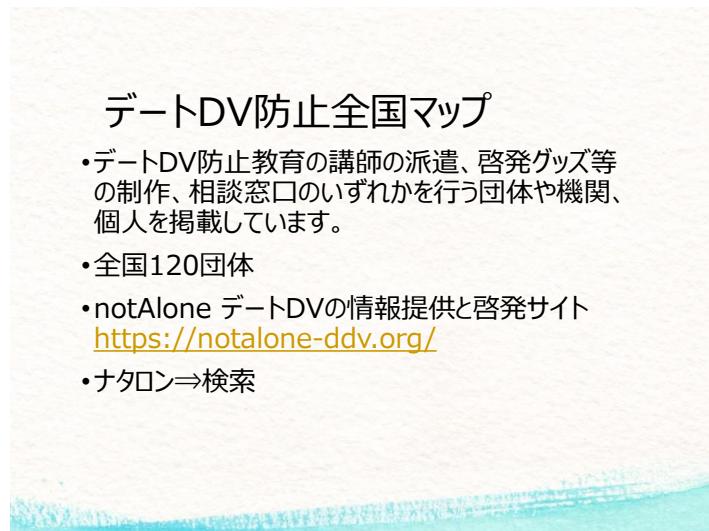
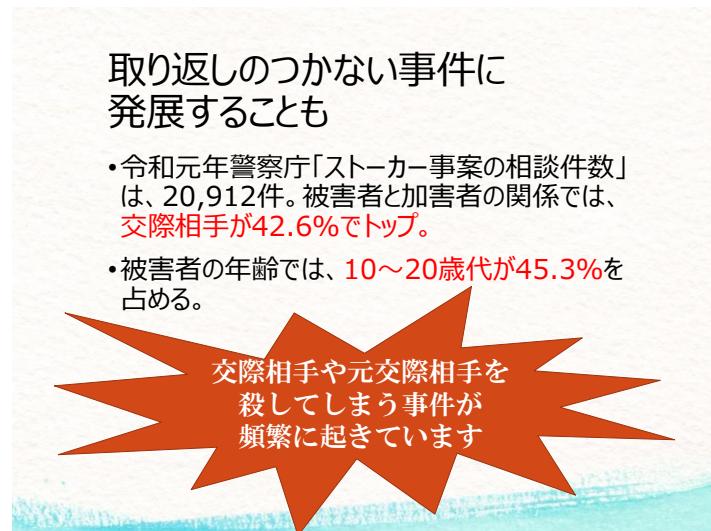
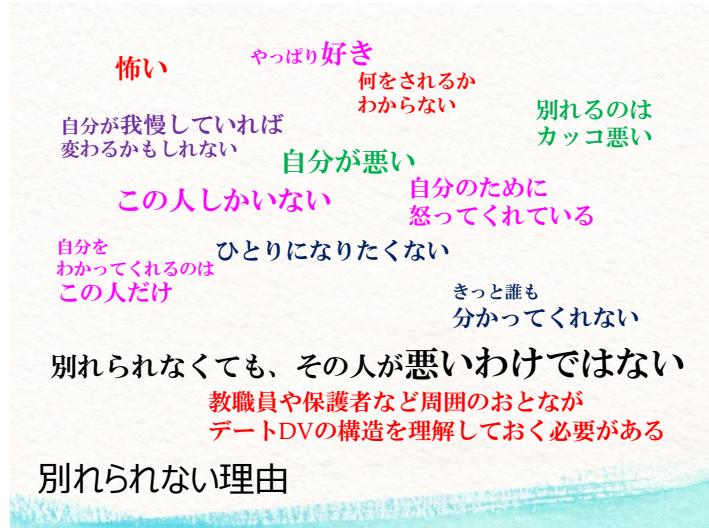
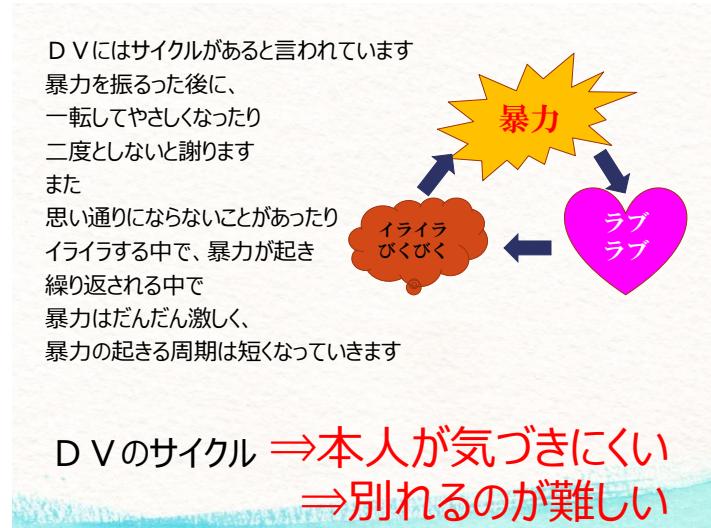
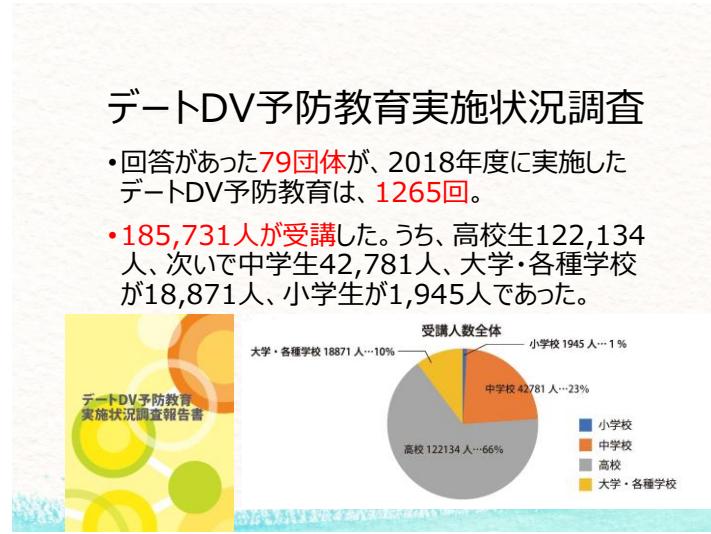


深刻な性被害もあります

- ・「返信が遅いと怒る」(*女性24.2%、男性13.3%)、
- ・「他の異性と話をしないと約束する」(女性15.4%、男性11.5%)
- ・「別れたら死ぬと言う」(女性11.4%、男性5.5%)
- ・「首を絞める」(女性2.8%)
- ・「嫌がっているのにセックスをする」(女性6.0%)
- ・「避妊に協力しない」(女性6.2%)、
- ・「裸や性行為の写真や動画を撮る」(女性4.7%)
- ・「裸や性行為の写真や動画を撮りたい、送ってほしいと要求する」(女性9.6%)

*()内は上記調査での被害率。





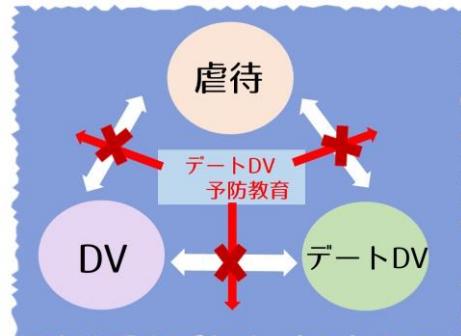
動画を見て考えよう (エンパワメントかながわデータDV予防プログラムより)



受講した生徒の感想

- 自分はされたり、したことありませんが、やられた人は絶対辛いし、嫌な気持ちになっていると思うので、もし自分がその立場になったら相手に意見を言える関係でいいです。
- ⇒被害者を作らない
- 自分はそんなこともやりたくないし、やられたくない。こんなことがない社会になるようにしたい。
- 自分が彼女にしていることがデータDVだと今日気づきました。
- ⇒加害者を作らない
- もし自分の友達がデータDVに巻き込まれていたら助けてあげたいと思いました。
- ⇒傍観者を作らない

DVと虐待の連鎖を断ち切るために
データDV予防教育が有効です！



交際相手からの被害経験がある女性のうち約6割(56.6%)が配偶者からの被害経験もある。
(平成29年内閣府「男女間における暴力に関する調査」)